

相模原市保育連絡協議会 保育専門講座Ⅰ アンケート結果

「保育施設における重大事故を防ぐために」

講師：寺町 東子氏

平成30年6月15日（金）18：30～20：00

参加者 211名 アンケート集計168名

- ・具体例が多くとてもわかりやすかった。参考になった。(多数)
- ・重大事故に対する意識を強く改めて思った。(多数)
- ・自分の保育を見直すきっかけとなり勉強になった。(多数)
- ・園で情報共有をしたい。(11)
- ・今後の保育に活かしたい。(7)
- ・当たり前のことを当たり前だと思わないように日々の保育をしていきたい。(3)
- ・クラス職員や園全体での共通認識が大切だと改めて学ぶことができた。(3)
- ・子どもが集中して遊べる保育は危険リスクが減るということが興味深かった。(3)
- ・子どもたちがとんでもないことをするのはつまらないからという一言が身にしみた。子どもが夢中になれる遊びと職員体制を万全にし、安全で楽しい保育をしていきたい。(3)
- ・事故、怪我は日々気をつけているが、重大事故にならないよう十分気をつけていきたい。(2)
- ・ガイドラインにしっかり目を通し全職員で確認し、重大事故を防いでいきたい。(2)
- ・スイスチーフモデルがわかりやすかった。これを意識しようと感じた。(2)
- ・重大事故を防ぐには、避けることばかりでなく、子どもたちが楽しいと思える環境作りをすることが防ぐことにつながっているということが学べた。(2)
- ・いかに安全で安心な環境を作るか。周りの人間関係、チームワークもこまめに話し合い意識するべきだと感じた。(2)
- ・学びになる話をたくさん聞くことができよかった。(2)
- ・保育園側に思いを寄せてくださった話で素直に聞いた。(2)
- ・リスク管理は遊びの充実が重要。
- ・重大事故が起きる要因について、今まで知らないこともあったので園に持ち帰り対策を改めたい。
- ・実際の保育現場においてリスクと隣り合わせになりながらも主体性を育むためにはどうしたらよいか具体的な学びがあった。
- ・重大事故を防ぐ術はたくさんあると知り、日常保育の中で注意して早い段階で防ぎたいと思った。
- ・保護者と共に子どもの発達を理解しあい、安全で楽しい保育を展開できればと思う。
- ・重大事故を防ぐためには、保育士同士のチームワークや一人ひとりの気持ち、子どもを守ることに對しての一貫したルールを設けることで防げる事故がほとんどだと理解することができた。
- ・ハードもソフトも環境も人間もいろいろな視点から考え直していかねばと思った。
- ・事例をもとにどういった防止策があるのかということを知ることができた。
- ・保育の中で気付かなくてはならないことを再確認できた。
- ・日々の中でもっと頭の中に入れないといけないと思った。
- ・何度聞いても身が引き締まる思いです。
- ・赤ちゃんの泣くということは、赤ちゃんの言葉であるということをお大切にしていきたい。
- ・聞いたことがある内容であったが、改めて聞くことで確認できた。
- ・緊張感を大事にしていきたい。
- ・サービス業としての保育を脱却するとの話が心に残り、専門性を身に付けた保育を心がけていきたいと思った。

(環境)

- ・子どもが集中して遊び込める時間を作る大切さを学んだ。
- ・園の環境を確認したい。
- ・重大事故を防ぐには、まずその活動や玩具が必要なのかを見極めることが大切だと思った。
- ・環境の大切さを改めて実感した。

- ・安全対策についてもう一度見直します。
- ・危険を排除して安全に過ごせるようにしたい。
- ・0歳児保育について事故防止を改めて実感すると共に危険がたくさんあることを知った。
- ・未満児がクラスの半分いるので全体を見ながら保育者とチームワークを大切にしていきたい。
- ・子どもの目線まで下がって安全確認することが大切だと感じた。

(プール・午睡・誤飲)

- ・プールについての話が興味深く参考にしたい。(多数)
- ・プール遊びが始まる前に学べて、再認識できてよかった。(13)
- ・プールは気を引き締めて監視していきます。(4)
- ・午睡中の注意点や玩具の危険など明日から気をつける内容だったので勉強になった。(4)
- ・プール活動での事故例なども知ることができたので、事故が起きないようにしたいと強く思った。(2)
- ・中止することも大切ということは新しい選択肢だった。(2)
- ・あお向け寝や監視役等、園で取り組んでいることの重要性を再確認できた。(2)
- ・午睡、プールなどについて改めて考え見直す課題だと思った。(2)
- ・(プール遊びを)取りやめる決断も大切。
- ・プール遊びが始まる前に職員一同で再認識を行う必要性を改めて感じた。
- ・監視者の心得を園にしっかりと持ち帰りたい。
- ・午睡中の事故にドキッとした。
- ・二酸化炭素がたまってしまうと危険なことがわかり驚いた。
- ・身近に危険がたくさんあるのだと改めて思った。
- ・誤飲や詰め込みについて注意している。詰まりやすい食材がたくさんあることに驚いた。
- ・日常に潜む危険、水遊びの危険について詳しく学べた。

(その他)

- ・保護者対応が駆け足になってしまったのが残念。(3)
- ・以前大きな事故(骨折)を起こし現在も引きずっている。「事故の原因はひとつではない」「ハードの問題」という話が印象的。人のせいにするつもりはないが気持ち救われた。
- ・乳児の突然死や幼児のプールについてもっと聞きたかった。
- ・資料がもう少し多いとよい。
- ・重大事故は防がないといけないが、子どもたちの興味関心も満たしていくために考えていきたい
- ・内容が総体的だったのでポイントを絞ってより深く聞きたい部分があった。
- ・事故があるので、すべてを中止という話より、どのように実施し安全を守っていかれるかを学びたかった。保育の質を高めるための研修で中止の勇気を持つことを伝えるのは大切だと思うが、より質を高める研修になることを願う。
- ・専門外で働いているが活かせる部分も多々あった。(弁護士の勉強中)

<希望の講座>

- ・寺町先生の第2弾(4)
- ・中川氏の講座
- ・主体的な保育の方法について
- ・発達障害について園での具体的な対応について
- ・気になる子や支援の子への対応、保護者への伝え方、保育の場で行う大切なこと
- ・保護者対応、関わり方等
- ・幼保小連携に関する講座(相模原市内小学校長)
- ・環境設定
- ・災害対応
- ・手遊び
- ・製作
- ・トイレトレーニング